



# 風の子 太陽の子

浜松市立相生小学校  
令和4年5月31日

## スポーツマンシップの3つのF ～リレー大会を通して～

校長 鈴木晶子

照りつける日差しにも夏の気配が感じられるようになりました。先日のリレー大会には多くの保護者の皆様の御参観をいただき、ありがとうございました。

相生小学校が、体育科学習を中心とした「心と体の健康な子」を育てることに力を入れてから、今年で57年。昭和63年にまとめられた「風の子・太陽の子」実践記録集には、「小学校は、人間教育の基礎作りの場であり、子供が自然の中で伸び伸びと体を動かし、楽しい教育活動を展開する場であります。最近の非行、登校拒否、暴力などの傾向を思うとき、子供を太陽の下で活動させ風にあて、心身ともにたくましく育てることが大切でありましょう」と書かれています。その時代に応じて教育活動は変化していますが、新型コロナウイルス感染予防による閉塞感のある生活、ICTの活用が進みネットやゲーム時間の増加による外遊びの減少、対面でのかかわりの大切さが再確認されているという現状から、相生小の子供たちにとって、「太陽の下で活動し、風にあたり、仲間と共に活動すること」が何より重要ではないかと考えます。5月のリレー大会は相生小の3大行事の一つです。子供たちは勝つことを目指すわけですが、それが目標ではありません。新しい学級のメンバーでの活動ですから当然うまくいかないこともあり、それを一つずつ解決しながら当日を迎えました。各学級、チーム、一人一人に様々なドラマがあったと思います。スポーツマンシップの3つのFを大事に活動した子供たちは確実に力を付け、それは「生きる力」につながっていると実感しました。

- 1 ルールをしっかり守ってリレーができました。テイクオーバーゾーン、妨害行為に気を付け、正々堂々と走りました。  
→【フェア・プレイ（公平・公正）】
- 2 1位になることやタイムを良くするために練習を積んで、走力が高まったり、バトンパスが上手になったりしました。最後まで全力で取り組むことができました。  
→【ファイティング・スピリット（闘志・気力）】
- 3 練習の時も、本番も、心一つにして温かい気持ちで協力したり、応援したりして運動しました。勝っても、負けても互いの頑張りを認め合い、相手を尊敬し、感謝の気持ちをもつことができました。  
→【フレンドシップ（親睦・好意）】



<風の子 太陽の子大活躍

1年生と6年生のリレーと太陽の子スポーツ委員会>